



市民雪像技術指導員

わたなべ
渡辺
しん
信さん

(稲穂在住)

▲雪像づくりの魅力話す渡辺さん



▲最初は雪の塊です(上)。その後、削り出して雪像を制作していきます(下)

渡辺さんは、毎年、さっぽろ雪まつり開催時に制作される市民雪像の技術指導を行っており、今年も全120基のうち、20基の雪像の指導を行いました。

渡辺さんが雪像づくりを続けるきっかけとなったのは伏見高校(現札幌工業高校)在学中に作った「昇天」というテーマの雪像でした。この雪像は第4回さっぽろ雪まつりで制作され、それまでのさっぽろ雪まつりで作られた雪像とは比較にならない規模で作られた、記念碑的大雪像だったそうです。

教員として母校の札幌工業高校に戻った後も、教育の一環として生徒と共に雪像づくりを続けました。退職した現在も雪像技術指導員として雪像制作に携わり、50年以上にわたって雪像づくりにかかわってきました。

「単に技術だけではなく人間関係やチームワークなども雪像の出来、不出来を左右するんですよ」と渡辺さん。また、雪像づくりの魅力について「雪像を一緒に作ることによって、制作者同士の人間関係が密になることです」と話します。

「これからも、健康が続く限り雪像づくりにかかわっていききたいですね」と、雪像づくりへの思いをにこやかに語ってくれました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎ 681-2400内線224 FAX 681-6639